

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

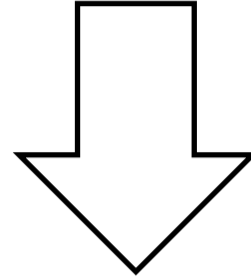
事業名	特定感染症検査等事業	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成11年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章				
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防および感染症の患者に関する法律	関係する計画、通知等	「性感染症に関する特定感染症予防指針」 (平成24年厚生労働省告示第19号)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患)及びHTLV-1に関する検査・相談事業を推進する事により、これらの感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の推進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒、淋菌感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業並びに、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する検査及び相談事業を行い、それに対して補助を行っている。 【補助率】1/2							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	65	65	52	52	52	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	65	65	52	52	52	
		執行額	49	68	61			
	執行率(%)	75.4	104.6	117.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	各補助事業者において目標を設定するため、統一した目標を示すことは困難である。		成果実績		-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実施自治体数(都道府県・政令市・特別区)対象自治体数 21年度:136 22年度:136 23年度:138 24年度:139		活動実績 (当初見込み)	自治体	108 (136)	112 (136)	113 (138)	- (139)
			算出根拠		自治体により事業規模が異なるため、単位当たりコストの算出は困難である。			
単位当たりコスト	-		(円/ -)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	性感染症検査・相談事業費	52	52					
	計	52	52					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置は重要であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置を行うためには、広域的な対応が必要であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置を実施するために真に必要な費目を補助対象経費としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	感染症の発生の予防・まん延防止及び治療対策の措置を実施するものであり、他の手段に比べ実効性の高い手段となっている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	概ね当初見込みどおりの活動実績となっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・性感染症については、若年層の罹患率の割合が高いことから、広く検査及び相談の機会を提供し、早期発見・早期治療につながるよう、性感染症検査及び性感染症に関する相談事業を引き続き推進する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>特定感染症検査等事業については、「性感染症に関する特定感染症予防指針」に定められる性感染症に関する検査及び相談事業並びに、HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する検査及び相談事業に必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0122	平成23年行政事業レビュー	0102

厚生労働省
61百万円

保健所における性感染症に指定した5疾患（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症）の検査事業及び相談事業に関する交付申請書の審査、交付決定等

※平成23年度よりHTLV-1を新たに補助対象項目として追加



【補助】

A. 都道府県、政令市、特別区(113)

【補助率 1/2】

61百万円

保健所における性感染症に指定した5疾患（性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、梅毒及び淋菌感染症）の検査事業

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する）（単
位：百万円）

A.大阪府			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
検査費	性器クラミジア感染症、梅毒 (STS,TPHA)の検査費用の補助	5			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)の検査費用の補助	5		
2	東京都	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)、淋菌感染症の検査費用の補助	4		
3	大阪市	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)の検査費用の補助	4		
4	千葉県	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)の検査費用の補助	3		
5	京都市	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)、淋菌感染症の検査費用の補助	3		
6	北九州市	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)の検査費用の補助	2		
7	茨城県	性器クラミジア感染症、梅毒(TPHA)、HTLV-1の検査費用の補助	2		
8	神戸市	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)の検査費用の補助	2		
9	栃木県	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA)、淋菌感染症、HTLV-1の検査費用の補助	2		
10	八王子市	性器クラミジア感染症、梅毒(STS,TPHA,FTA-ABS)、淋菌感染症、HTLV-1の検査費用の補助	1		